

# 集中自動検針装置

OSCAM MR64f/MR128f

## 仕様書

**大崎電気工業株式会社**

〒141-8646 東京都品川区東五反田2-2-7

TEL (03) 3443-7171

# 目 次

1. 装置概要	1
2. 構 成	1
3. 施 工	2
4. 保 証	3
5. 有償業務の範囲	3
6. 保 守	3
7. そ の 他	3
8. システム構成	4
9. 装置仕様	5
10. 主な機能	6
11. 印 字 例	9
12. 外 形 図	16
13. 接 続 図	19
14. アドレス表	20

## 1. 装置概要

OSCAM MR64f/MR128fは、テナントビル、商店街、寮、工場、卸売市場等の電力、水道、ガスなどの検針課金業務合理化のための、自動検針装置です。

### 特長

- ① 料金計算（使用料金のほか、テナント固定費、消費税）
- ② 簡易請求書印字（ジャーナルプリンタ方式）
- ③ 大型（15桁×8行）液晶表示器の採用
- ④ 漢字プリンタの採用
- ⑤ 伝送機能付（遠隔検針に対応）

検針分野における永年の実績を基に、料金計算、簡易請求書印字のできる多機能な検針装置ですので、検針業務、公正課金、省力化、エネルギーの合理的管理の推進が図れます。

最新のマイコン技術を駆使し、豊富な機能と誰にでも扱える簡単な操作性を実現しました。

表示は、15桁×8行の大きな液晶表示器を採用し、漢字表示により見やすくしています。

また、漢字プリンタの採用により印字は大変読み易くなっています。

さらに、伝送機能付ですから、HOSTコンピュータにおける請求書発行、遠隔検針等にも対応することができます。

## 2. 構成

(1) 本体 O S C A M MR64f/MR128f

(2) 付属品

- |              |    |               |
|--------------|----|---------------|
| ①モード切換用キー    | 2個 |               |
| ②印字用紙        | 3巻 | (幅58mm、長さ25m) |
| ③印字用紙シャフト(心) | 1本 |               |
| ④添付書類        |    |               |
| ・取扱説明書       | 1部 |               |
| ・施工説明書       | 1部 |               |
| ・試験成績書       | 1部 |               |
| ・プリンタ操作説明書   | 1部 |               |

印字用紙をご注文の際は、「MR64f/MR128f用印字用紙」(10巻単位)とご用命ください。

### 3. 施工

#### (1) 検針入力線の敷設

MR64f/MR128fの諸機能を最大限に発揮させるには、特に検針入力線の敷設および配線接続を確実に施工することが必要です。1カ所の施工上のミスが、システム全般に大きな影響を与えることがありますので、十分注意してください。

詳しくは施工説明書をお読みください。

#### (2) 各種計量器の選定

MR64f/MR128fをご使用いただくには、発信装置付計量器が必要です。

各種計量器の選定には、特に発信装置の仕様が重要になります。下表の仕様の計器を選定してください。

項 目		計 器 仕 様
出力 パ ル ス	パルス方式	・リードリレーまたは水銀リレー 無電圧a接点 ・トランジスタオープンコレクタ
	接点定格	DC12V 20mA以上
	発信乗率	10 <sup>n</sup> (単位/パルス) n=-1, 0, 1, 2 例: 100回/パルス、1m <sup>3</sup> /パルス、1kWh/パルス、10kWh/パルス
	パルス幅	パルス幅 100msec以上
	パルス周期	パルス周期 200msec以上
	心数	2線式
適合メータ		電力量計、水道メータ、ガスメータ、温水メータ、積算熱量計等

設計・施工にあたっては、施工説明書を必ずご参照ください。

## 4. 保証

### (1) 保証期間

保証期間は、ご指定場所に本体を納入後1年といたします。

### (2) 保証範囲

保証期間中に当社が納入した本体に欠陥があるときは、無償で修理・交換いたします。  
ただし、下記の項目に該当するときは、修理を有償とさせていただきます。

- ① 施工説明書、取扱説明書などに該当しない不適當なお取り扱い・ご使用の場合
- ② 故障の原因が当社以外の理由による場合
- ③ 当社以外の改造・修理による場合
- ④ 天災、当社以外の人災などによる場合

保証は、本体の保証を意味するもので、本体の故障で誘発される損害についてはご容赦ください。

## 5. 有償業務の範囲

次のような場合は、別途費用を申し受けます。

- ① メータ初期値登録（メータ読み合わせ）
- ② 取り付け調整指導または試運転立ち会い
- ③ 保守点検、調整
- ④ 技術資料および技術教育
- ⑤ 本装置に付属の取扱説明書、試験成績書などの再発行および付属部数以上に必要な場合
- ⑥ 取扱説明および操作説明
- ⑦ その他、見積書・契約書などで定められていない事項

## 6. 保守

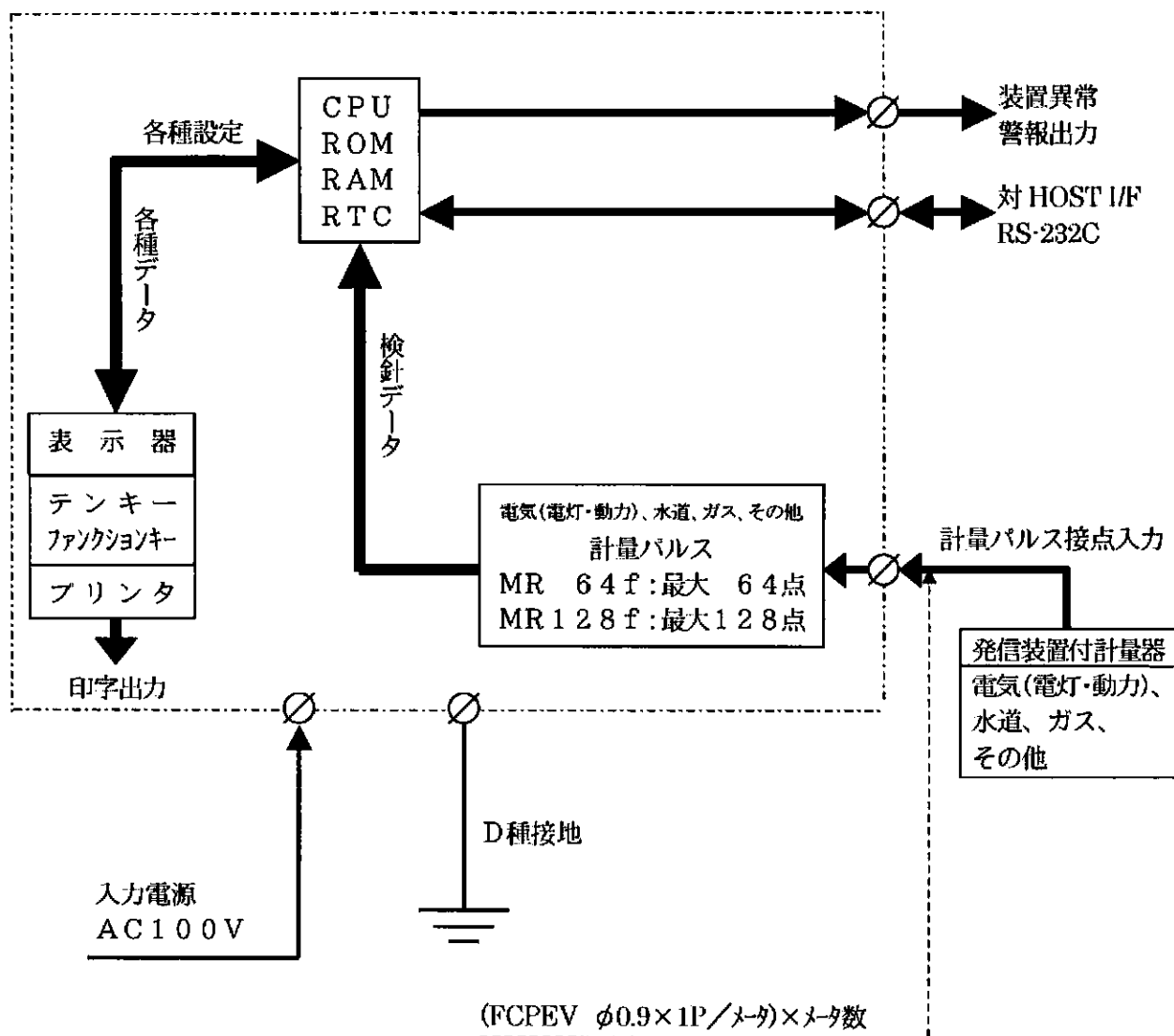
- ① 機能の保持、安全のため、当社と定期点検契約を結ぶことをおすすめします。
- ② 計量器は計量法により有効期間が定められていますので（例：2000年5月現在、電気10年、水道8年など）、期間満了が近づきましたら、当社に対応をお申し付けください。有効期間を終了した計量器を料金収受（取引）に使用することは、法令上禁止されています。

## 7. その他

- ① OSCAM MR64f/MR128fのご注文に際しましては、見積書、契約書、カタログ、仕様書などをご確認のうえ、ご注文をお願いいたします。
- ② また、本体仕様書の内容または、定めない事項について疑義を生じた場合は、法令および協議に基づき解決するものとします。

## 8. システム構成図

OSCAM MR 64 f / MR 128 f



## 9. 装置仕様

### 9-1 基本項目

形 式		集中自動検針装置 MR64f/MR128f
制御方式		マイクロコンピュータ制御方式
入 力 仕 様	検針対象メータ	発信装置付計量器（電力量計、水道メータ、ガスメータ、積算熱量計、その他のメータ）
	最大検針メータ数	MR64f：64点 / MR128f：128点
	パルス信号	無電圧a接点（リードリレー、水銀リレー接点） またはトランジスタオープンコレクタ：2線式 パルス幅 100msec以上 パルス周期 200msec以上
	検針入力線	FCPEV* <sup>1</sup> φ0.9×1P/メータ、最長距離500m
表 示	表示器	15桁×8行液晶表示器（バックライト付LCD）
	表示文字	漢字、かな 16×16ドット 英数字・記号 8×16ドット
操 作	操作スイッチ	設定/運転モード切換キースイッチ ファンクションキー、テンキー
印 字		32桁漢字ラインサーマルプリンタ 印字速度 27mm/sec 用紙 幅58mm 長さ25m/巻
時 計	方式	水晶発振式万年カレンダー時計
	精度	±30秒/月
停電 補償	検針動作補償	8時間（小型シール鉛蓄電池）
	データメモリ等補償	停電累積時間2,000時間
入力電源		AC100V±10% 50/60Hz共用
消費電力		MR64f：20VA / MR128f：35VA
接 地		D種接地
使 用 環 境	温度	5～45℃
	湿度	10～90%RH（結露なきこと）
	その他	一般工業計器に準ずる
外形寸法		MR64f：400(W)×500(H)×100(D) MR128f：500(W)×800(H)×100(D)
重 量		MR64f：16kg / MR128f：23kg
取付方法		壁掛型
塗装色		日塗工Y25-85A (マンセル5Y8.5/0.5 半ツヤ)

\*1

FCPEV：着色識別ポリエチレン絶縁ビニルシースケープル  
単心・アルミシールド・ドレンワイヤー付き

### 9-2 設定方式

キースイッチによりモード切替え（運転→設定）後、メニューを選択。  
設定はファンクションキー、テンキーにより直接入力

### 9-3 対HOSTインターフェイス

- (1) インターフェイス RS-232C
- (2) 通信速度 非同期式1,200bps
- (3) 通信方式 全二重通信方式

## 10. 主な機能

### 10-1 時刻設定

自動検針に使用するため、検針装置本体の時計を設定します。

年	00～99	2桁 (西暦下2桁)
月	01～12	2桁
日	01～31	2桁
(曜日)	日～土	1字 設定年月日により自動判定)
時	00～23	2桁
分	00～59	2桁

### 10-2 検針

#### (1) 自動検針

定例検針を自動で行う日時(月1回特定日時)をあらかじめ設定することにより、自動で検針処理を行います。

全種別を一斉に検針します。

##### ① 検針日時の指定

日	00	………	自動検針を行わない
	31	………	すべての月の月末に検針
	30	………	2月は月末に検針、その他の月は30日に検針
	29	………	うるう年でない2月は28日に検針、その他の月は29日に検針
	01～28	…	上記以外の指定日に検針(例:毎月1日午前0時など)
時	00～23		(正時の指定)

##### ② 印字出力の選択

- ・「検針データ」+「料金計算」
- ・「検針データ」のみ

#### (2) マニュアル検針

検針する種別を『一斉(ALL)』または特定計量種別『電気(L+P)・水道(W)・ガス(G)・熱量(J)・温水(H)・計器1(K)・計器2(S)』のいずれかから選択し、手動操作により任意の日時に検針処理を行います。印字出力内容は自動検針と同様です。

#### (3) 個別検針

特定テナントのみ、あるいは任意のテナントコード範囲のテナントを対象として検針処理を行います。検針は、任意の日時に手動操作により行います。

検針種別は全種別となります。

- |            |      |    |                          |
|------------|------|----|--------------------------|
| ・開始テナントコード | **** | 4桁 | } この範囲のテナントが<br>対象となります。 |
| ・終了テナントコード | **** | 4桁 |                          |

### 10-3 料金計算

#### (1) 専用部

1. 使用量 = (当月値 - 前月値) × 乗率
2. 従量料金 = 単価 × 使用量 (小数点以下切り捨て)
3. 基本料金 (メータごとに設定)
4. 使用料金 = 基本料金 + 従量料金

#### (2) 共用部

共用費 = 共用部料金 × テナント按分率



#### 10-4 単価設定

料金計算のうち従量料金の計算を行うための、計量種別ごとの単位料金を計量種別ごとに設定します。

##### 計量種別(記号, 種別, 桁数)

・L. 電灯	6桁(最大整数4桁小数2桁)	例: 0025.50(円)
・P. 動力	//	
・W. 水道	//	
・G. ガス	//	
・C. 熱量	//	
・H. 温水	//	
・K. 計器1	//	
・S. 計器2	//	

#### 10-5 各種登録

##### (1) メータ登録

検針を行うために必要なメータのデータを設定します。

・テナントコード	0001~9999	4桁(9000以上は共用部テナント →共用部按分計算対象)
・種別	L.P.W.G.J.H.K.S	1桁
・メータNo	1~9	1桁
・初期値	取付時の指示値	6桁
・パルス重み	0001~9999	4桁
・乗率	0001~9999	4桁
・基本料金	0~999999	6桁

##### (2) テナント名称登録

メータ登録にて登録されているテナントコードごとにテナント名称を登録することができます。

・テナント名称	J I S第1、第2水準漢字、かな、英数字他	最大10文字
---------	------------------------	--------

#### 10-6 検針値モニター

検針値のカウントアップ(メータからのパルス入力)の確認、現在値、当月値の修正を行うことができます。

#### 10-7 メータ抹消

テナントの月途中退去あるいはメータ交換時などに用います。

抹消処理の内容は記録され、保管ができます。

#### 10-8 使用量チェック

今回使用量と前回使用量とを比較し、異常使用などのチェックができます。

今回使用量が前回使用量の2倍以上の場合に、アラームを表示します。

定例検針の前に行うことにより、適正な検針を行うことができます。

#### 10-9 前回検針印字

前回の定例検針のデータを印字することができます。

これにより、紙切れ、紙詰まり等によるデータ欠損の心配がなくなりました。

#### 10-10 共用部按分(あんぶん)

共用部の使用料金(共用費)をあらかじめ設定された按分率に従って各テナントに配賦することができます。

$$\text{共用費} = \text{共用部料金} \times \text{テナント按分率}$$

#### 10-11 簡易請求書発行

各テナントごとの専用部メータの使用料金の他に、テナント固定費(4種類)、共用料金を含めた簡易請求書を発行することができます。

- ・使用料金
- ・共用料金
- ・テナント固定費(4種類)

簡易請求書の印字内容およびフォーマットは変更できません。ただし、固定費の名称は変更することが可能です。



# 1 1 . 印字例 (実際の印字とは若干イメージが異なります。)

各印字例の2行目にある日時または日付は、印字された日時または日付となります。

【単価設定】		
00年12月15日(金) 13時45分		
L	電灯	35.85
P	動力	28.15
W	水道	58.70
G	ガス	350.75
J	熱量	210.50
H	温水	90.00
K	計器 1	45.20
S	計器 2	54.35

## 単価設定印字

料金計算のうちの従量料金の計算を行うための計量種別ごとの単価の設定内容を印字します。

【メータ登録】			
00年12月15日(金) 13時45分			
No.	メータ No.	現在値 乗率	当月値 基本料金
001	1000L1 1	000026 1	000026 3500
002	1000P1 1	000006 1	000006 2800
003	1000W1 10	000001 1	000001 2400
004	1020L1 1	000021 1	000021 3500
005			
006			
007			
008			
009			
010			
128			

## メータ登録印字

検針を行うために必要なメータの各種データの設定内容を印字します。

未登録のメータはNo. のみ印字します。

MR64fは064までです。

【テナント名称登録】	
00年12月15日(金) 13時45分	
コード	名称
1000	大崎電気工業株式会社
1001	テナント 1 F-1
1002	テナント 1 F-2

## テナント名称登録印字

メータ登録にて登録されているテナントコードに対応するテナント名称を印字します。

【テナント固定費】	
00年12月15日(金) 13時45分	
コード	1000 大崎電気工業株式会社
固定費 1	10000
固定費 2	20000
固定費 3	30000
固定費 4	40000
コード	2000 大崎テクノサービス
固定費 1	10000
	⋮
合計	
固定費 1	510000
固定費 2	230000
固定費 3	183000
固定費 4	440000

#### テナント固定費登録印字

登録されているテナントコードごとに設定されている固定費および全テナントの合計を印字します。

【テナント按分率】			
00年12月15日(金) 13時45分			
コード	1000 大崎電気工業株式会社		
L	10.000	P	8.500
W	12.500	G	0.000
J	0.000	H	0.000
K	0.000	S	0.000
コード	2000 大崎テクノサービス		
L	8.000	P	6.500
			⋮
合計			
L	99.980	P	100.500
W	100.100	G	0.000
J	0.000	H	0.000
K	0.000	S	0.000

#### テナント按分率登録印字 (単位%)

テナントコードごとに設定されているテナント按分率を印字します。

テナント按分率は、共用費をテナントごとに配賦するための計算に用いられます。

(表示例 L:電灯 P:動力)

【自動検針日設定】	
00年12月15日(金) 13時45分	
検針日時	1日00時
印字出力	検針データ+料金計算

#### 自動検針日設定印字

自動検針日時および検針時の印字種類の設定内容を印字します。

ここでは、毎月1日0時に設定した例を示しました。

【固定費名称】	
00年12月15日(金) 13時45分	
1	家賃
2	管理費
3	保守修繕費
4	組合費

#### 固定費名称設定印字

請求書に印字される固定費名称の設定内容を印字します。

【検針データ】 全種別  
00年12月15日(金) 13時45分

テナト 1000 大崎電気工業株式会社

No.	001	当月値	000158
電灯		前月値	000026
乗率	1	使用量	128

No.	002	当月値	000208
動力		前月値	000055
乗率	1	使用量	153

No.	003	当月値	000095
電灯		前月値	000019
乗率	1	使用量	76

テナト 2000 大崎テクノサービス

No.	006	当月値	000216
電灯		前月値	000120
乗率	1	使用量	96

No.	015	当月値	000159
動力		前月値	000084
乗率	1	使用量	75

No.	016	当月値	000109
水道		前月値	000074
乗率	1	使用量	35

使用量合計

電灯	専用	438
	共用	158
	合計	596

動力	専用	693
	共用	352
	合計	1045

電気	専用	1131
	共用	510
	合計	1641

水道	専用	512
	共用	0
	合計	512

温水	専用	0
	共用	742
	合計	742

検針データ印字 (一斉)

①自動検針

または

②マニュアル検針で一斉検針を実行時に印字します。

使用量 = (当月値 - 前月値) × 乗率

各計量種別ごとに専用合計、共用合計、合計を印字します。  
(共用メータの設定がないときも共用合計が印字されます。  
その場合、使用量はゼロとなります。)

「電気」は、「電灯」と「動力」の合計です。

【料金データ】 全種別  
00年12月15日(金) 13時45分

テナント 1000 大崎電気工業株式会社

電灯	従量料金	4732
	基本料金	3500
	使用料金	8232
動力	従量料金	4306
	基本料金	2800
	使用料金	7106
電気	従量料金	9038
	基本料金	6300
	使用料金	15338
水道	従量料金	4461
	基本料金	2400
	使用料金	6861

-----  
合計 22199  
消費税 1109  
税込合計 23308

テナント 2000 大崎テクノサービス

電灯	従量料金	3441
	基本料金	3500
	使用料金	5041

料金合計  
専用合計

電灯	従量料金	234125
	基本料金	18600
	使用料金	252725
動力	従量料金	189652
	使用料金	356844

-----  
合計 1082248  
消費税 54084  
税込合計 1136332

共用合計

水道	従量料金	153642
	基本料金	0

-----  
基本料金 0  
使用料金 356984

-----  
合計 865412  
消費税 43261  
税込合計 908673

総合計

電灯	従量料金	234125
	基本料金	18600
	使用料金	252725
動力	従量料金	189652
	使用料金	356984
温水	従量料金	356984
	基本料金	0
	使用料金	356984

-----  
合計 1947660  
消費税 97345  
税込合計 2045005

料金計算印字 (一斉)

①自動検針で「料金計算印字」を選択  
または

②マニュアル検針で「一斉検針」を選択  
したときに印字します。

従量料金 = 単 価 × 使用量

使用料金 = 基本料金 + 従量料金

前回検針印字の時はタイトルが

【前回料金データ】に変わります。

その他の印字内容は同じです。

専用メータの料金合計を印字します。

消費税の合計は個々のテナントの合計です。

(料金の合計に消費税率を乗じたものとは一致しない場合があります)

共用メータの料金合計を印字します。

共用メータの設定がないときは印字しません。

【個別検針】

00年12月15日(金) 13時45分

テナント 1000 大崎電気工業株式会社

No.	001	当月値	000158
電灯		前月値	000026
乗率	1	使用量	128
No.	002	当月値	000208
動力		前月値	000055
乗率	1	使用量	153
No.	003	当月値	000095
水道		前月値	000019
乗率	1	使用量	76
電灯	従量料金		4732
	基本料金		3500
	使用料金		8232
動力	従量料金		4306
	基本料金		2800
	使用料金		7106
電気	従量料金		9038
	基本料金		6300
	使用料金		15338
水道	従量料金		4461
	基本料金		2400
	使用料金		6861
	合計		22199
	消費税		1109
	税込合計		23308

個別検針印字

個別検針実行時にテナント別に印字します。

請求書		
コード 1000		00年12月15日
大崎電気工業株式会社 殿		
電灯	使用量	128
	単価	13.25
	従量料金	1696
	基本料金	2000
	使用料金	3696
水道	使用量	95
	単価	46.96
	従量料金	4461
	基本料金	2000
	使用料金	6461
小計		10157
共用費	電灯	1123
	動力	2100
小計		3223
固定費	家賃	120000
	管理費	40000
小計		160000
合計		173380
消費税		8669
請求金額		¥182,049

#### 簡易請求書印字

各テナントごとに専用メータにかかる使用料金のほかに  
共用費、固定費を含めた請求書を印字します。

共用メータがない場合は印字しません。

固定費の設定がない場合は印字しません。



【使用量チェック】  
00年12月15日(金) 13時45分

No.	001	今回量A	26
アドレス	1000L1	前回量B	51
現在値	000152	A/B比率	50%
No.	002	今回量A	189
アドレス	1000W1	前回量B	42
現在値	000654	A/B比率 *	450%
No.	003	今回量A	104
		⋮	
		⋮	
使用量合計			
		今回	前回
電灯		416	667
動力		49	166
電気		465	833
水道		45	135

使用量チェック印字

今回使用量と前回使用量の比較を印字し、異常使用のチェックができます。

$$A/B \text{ 比率} = (\text{今回使用量} \div \text{前回使用量}) \times 100$$

$$\text{今回使用量} = \text{現在値} - \text{当月値}$$

$$\text{前回使用量} = \text{当月値} - \text{前月値}$$

今回使用量は「今回量」、前回使用量は「前回量」と印字します。

← 比率が200%を超えると「\*」が印字されます。

【メータ抹消】  
00年12月15日(金) 13時45分

No.	001		
アドレス	1000L1		
現在値	当月値	乗率	使用量
001054	000986	1	68
従量料金	基本料金	使用料金	
1079	3500	4579	

メータを抹消しました

メータ抹消印字

テナントの退去やメータ交換があったとき、その時点でのデータを印字します。

「抹消する」を選択した場合

【メータ抹消】  
00年12月15日(金) 13時45分

No.	001		
アドレス	1000L1		
現在値	当月値	乗率	使用量
001054	000986	1	68
従量料金	基本料金	使用料金	
1079	3500	4579	

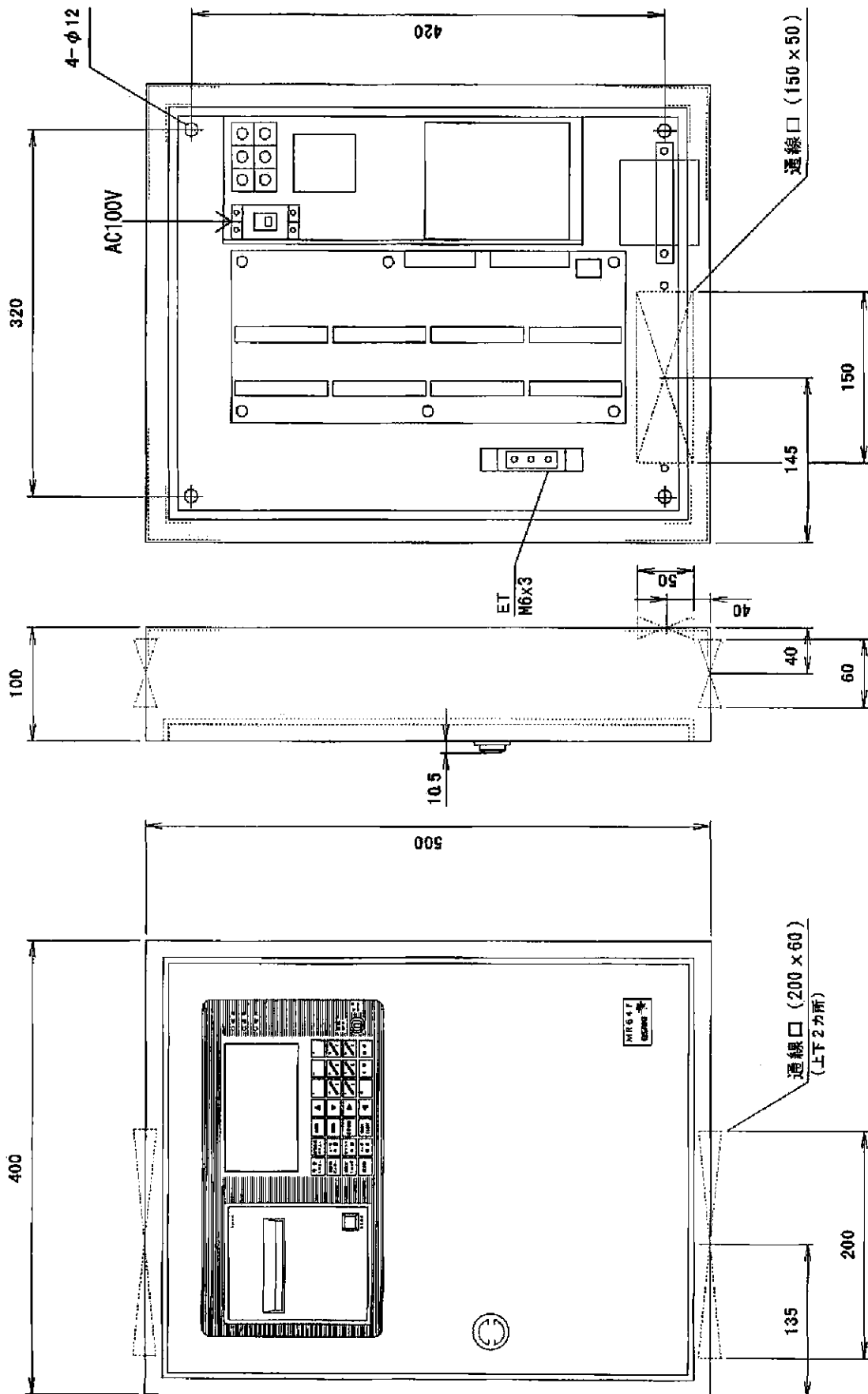
メータを抹消しませんでした

メータ抹消印字

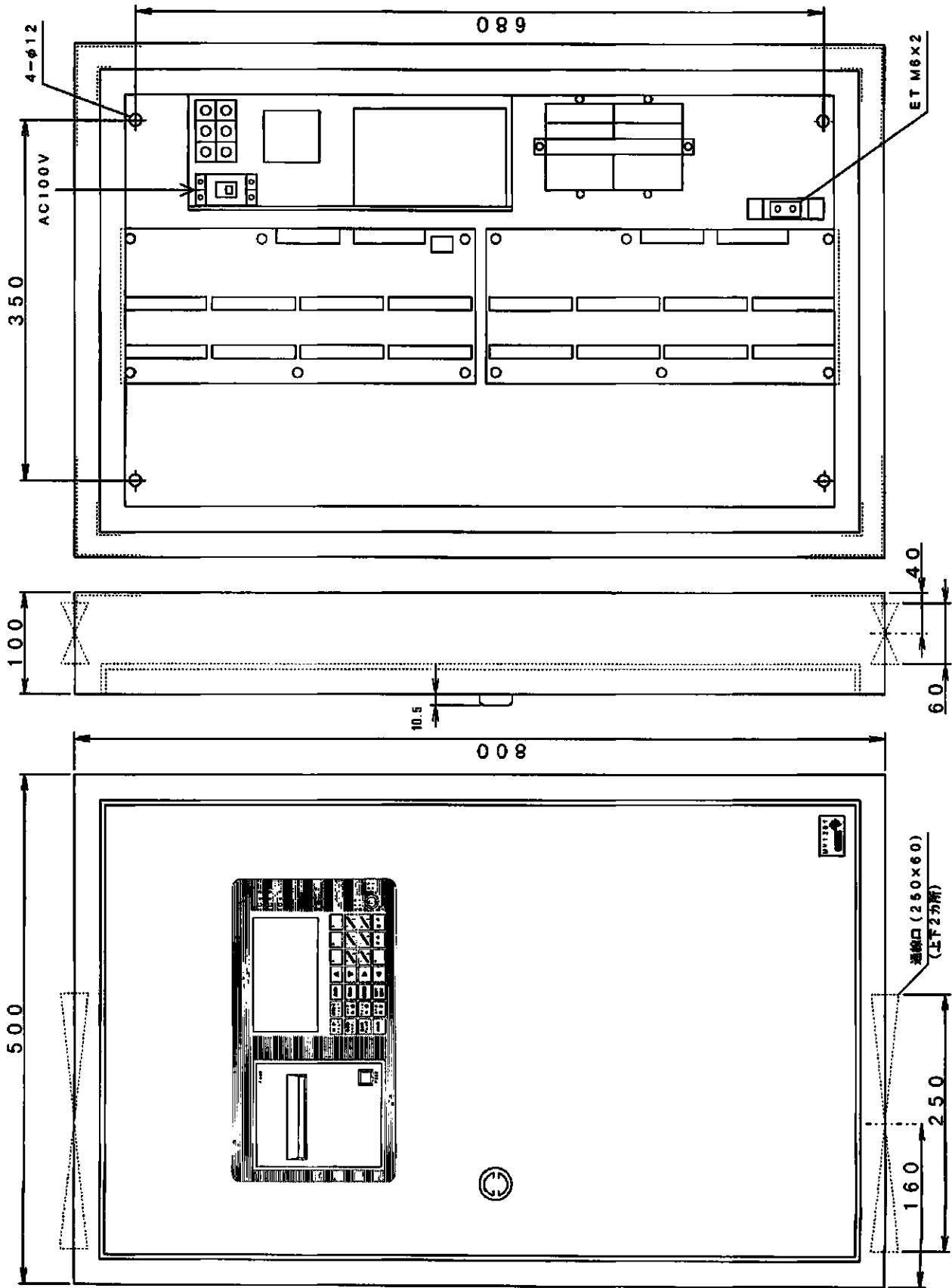
「抹消しない」を選択した場合

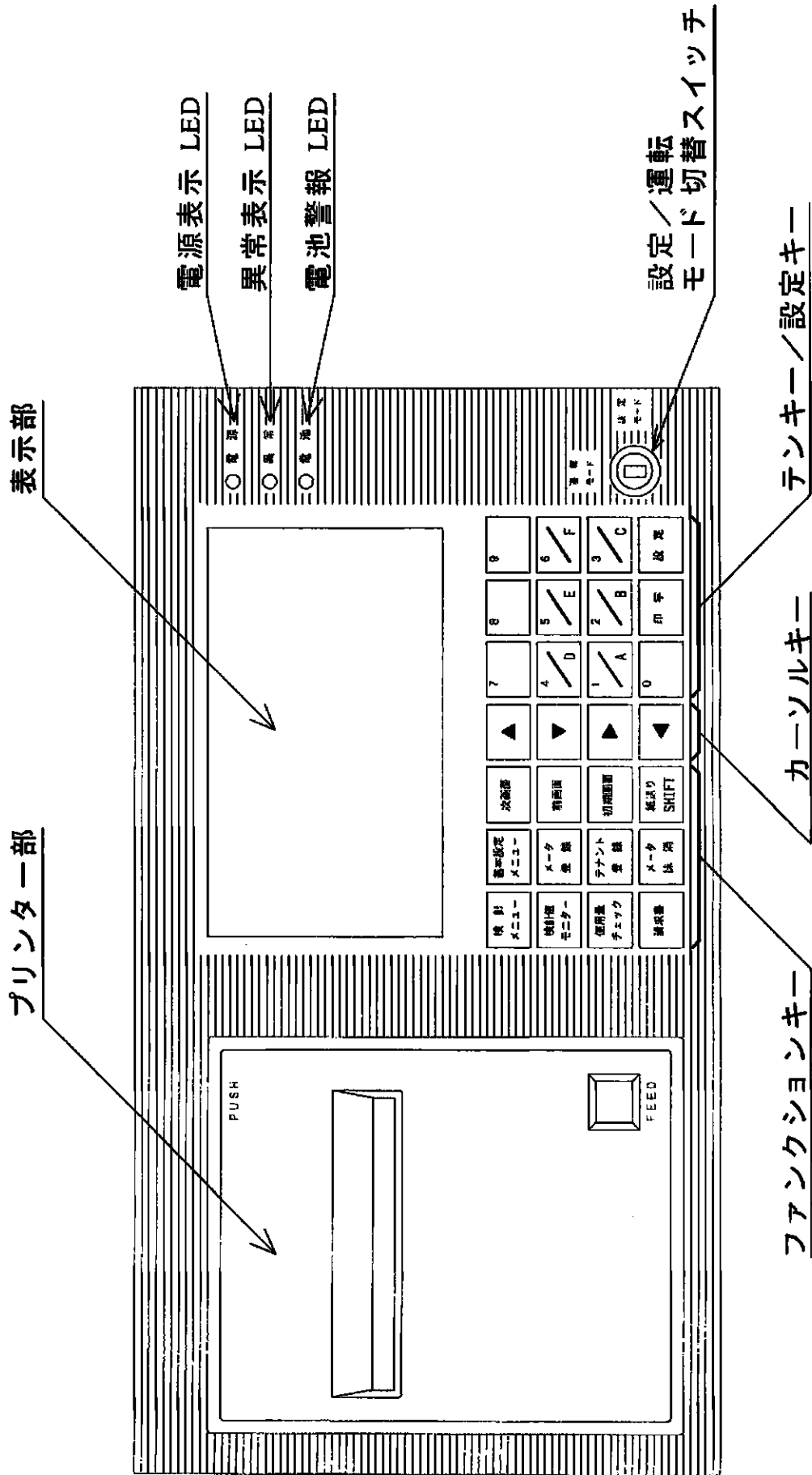
## 12. 外形図

12-1 MR 64 f 外形寸法図

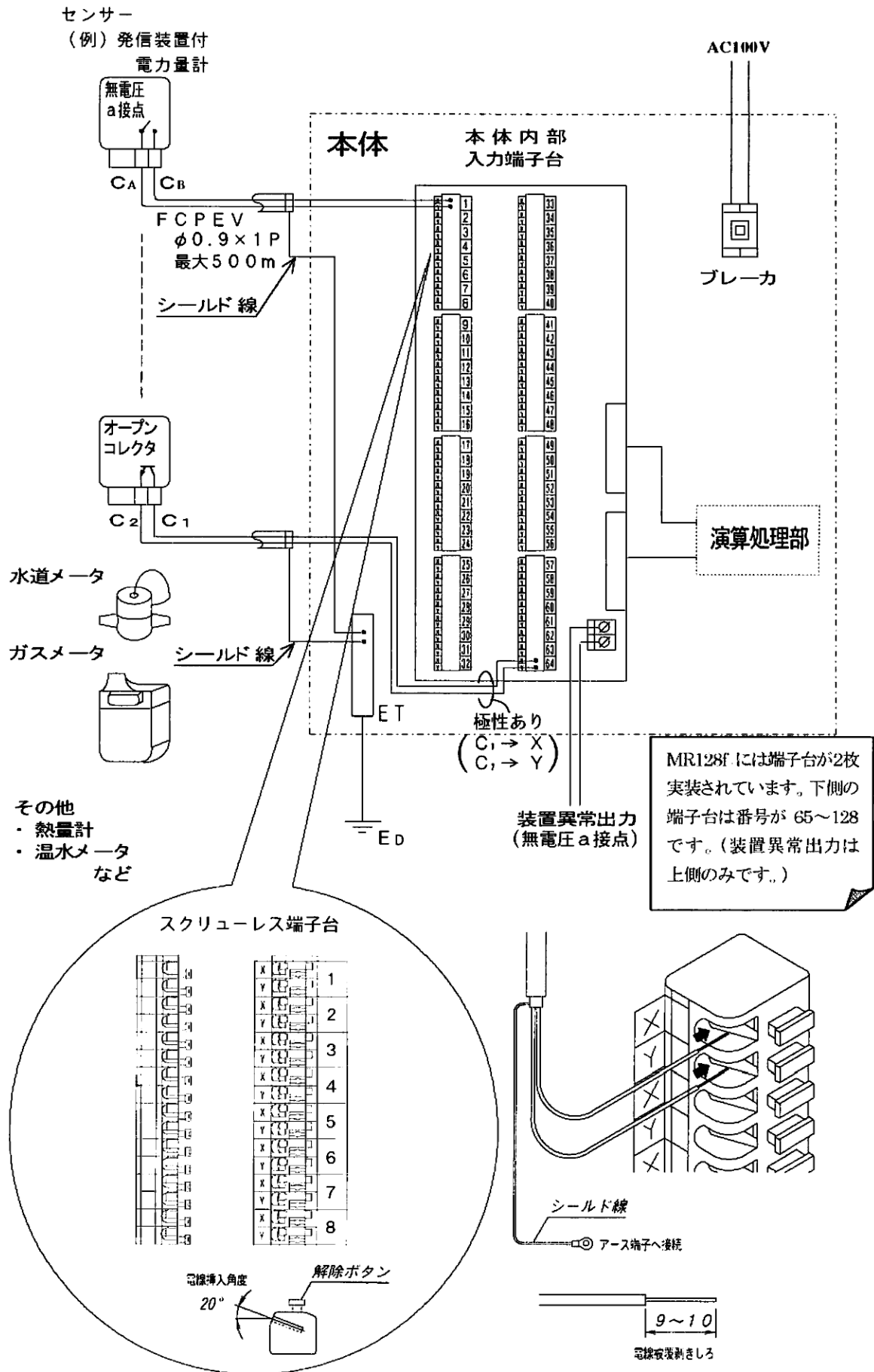


12-2 MR 1 2 8 f外形寸法図





# 13. 接続図



# 14. アドレス表 (MR 6 4 f 用)

集中自動検針装置 MR64fアドレス表

検針対象メータ

納入先

殿

電気 製 水道 製 ガス 製 熱量 製  
 温水 製 計器 1 製 計器 2 製

No.	メータ名	メータ種別	種別	メータ重み	乗率	メータ定格	盤名称	端子No.	備考
001								1X, 1Y	
002								2X, 2Y	
003								3X, 3Y	
004								4X, 4Y	
005								5X, 5Y	
006								6X, 6Y	
007								7X, 7Y	
008								8X, 8Y	
009								9X, 9Y	
010								10X, 10Y	
011								11X, 11Y	
012								12X, 12Y	
013								13X, 13Y	
014								14X, 14Y	
015								15X, 15Y	
016								16X, 16Y	
017								17X, 17Y	
018								18X, 18Y	
019								19X, 19Y	
020								20X, 20Y	
021								21X, 21Y	
022								22X, 22Y	
023								23X, 23Y	
024								24X, 24Y	
025								25X, 25Y	
026								26X, 26Y	
027								27X, 27Y	
028								28X, 28Y	
029								29X, 29Y	
030								30X, 30Y	
031								31X, 31Y	
032								32X, 32Y	
033								33X, 33Y	
034								34X, 34Y	
035								35X, 35Y	
036								36X, 36Y	
037								37X, 37Y	
038								38X, 38Y	
039								39X, 39Y	
040								40X, 40Y	
041								41X, 41Y	
042								42X, 42Y	
043								43X, 43Y	
044								44X, 44Y	
045								45X, 45Y	
046								46X, 46Y	
047								47X, 47Y	
048								48X, 48Y	
049								49X, 49Y	
050								50X, 50Y	
051								51X, 51Y	
052								52X, 52Y	
053								53X, 53Y	
054								54X, 54Y	
055								55X, 55Y	
056								56X, 56Y	
057								57X, 57Y	
058								58X, 58Y	
059								59X, 59Y	
060								60X, 60Y	
061								61X, 61Y	
062								62X, 62Y	
063								63X, 63Y	
064								64X, 64Y	

# 15. アドレス表 (MR128f用)

集中自動検針装置 MR128fアドレス表

1/2  
殿

検針対象メータ

納入先

電気 製 水道 製 ガス 製 熱量 製  
 温水 製 計器1 製 計器2 製

No.	メータ名	メータ種別	種別	1°版重み	乗率	メータ定格	盤名称	端子No.	備考
001								1X, 1Y	
002								2X, 2Y	
003								3X, 3Y	
004								4X, 4Y	
005								5X, 5Y	
006								6X, 6Y	
007								7X, 7Y	
008								8X, 8Y	
009								9X, 9Y	
010								10X, 10Y	
011								11X, 11Y	
012								12X, 12Y	
013								13X, 13Y	
014								14X, 14Y	
015								15X, 15Y	
016								16X, 16Y	
017								17X, 17Y	
018								18X, 18Y	
019								19X, 19Y	
020								20X, 20Y	
021								21X, 21Y	
022								22X, 22Y	
023								23X, 23Y	
024								24X, 24Y	
025								25X, 25Y	
026								26X, 26Y	
027								27X, 27Y	
028								28X, 28Y	
029								29X, 29Y	
030								30X, 30Y	
031								31X, 31Y	
032								32X, 32Y	
033								33X, 33Y	
034								34X, 34Y	
035								35X, 35Y	
036								36X, 36Y	
037								37X, 37Y	
038								38X, 38Y	
039								39X, 39Y	
040								40X, 40Y	
041								41X, 41Y	
042								42X, 42Y	
043								43X, 43Y	
044								44X, 44Y	
045								45X, 45Y	
046								46X, 46Y	
047								47X, 47Y	
048								48X, 48Y	
049								49X, 49Y	
050								50X, 50Y	
051								51X, 51Y	
052								52X, 52Y	
053								53X, 53Y	
054								54X, 54Y	
055								55X, 55Y	
056								56X, 56Y	
057								57X, 57Y	
058								58X, 58Y	
059								59X, 59Y	
060								60X, 60Y	
061								61X, 61Y	
062								62X, 62Y	
063								63X, 63Y	
064								64X, 64Y	

検針対象メータ

納入先

殿

電気 製 水道 製 ガス 製 熱量 製  
 温水 製 計器1 製 計器2 製

No.	メータ名	メータコード	種別	口径	乗率	メータ定格	盤名称	端子No.	備考
065								65X, 65Y	
066								66X, 66Y	
067								67X, 67Y	
068								68X, 68Y	
069								69X, 69Y	
070								70X, 70Y	
071								71X, 71Y	
072								72X, 72Y	
073								73X, 73Y	
074								74X, 74Y	
075								75X, 75Y	
076								76X, 76Y	
077								77X, 77Y	
078								78X, 78Y	
079								79X, 79Y	
080								80X, 80Y	
081								81X, 81Y	
082								82X, 82Y	
083								83X, 83Y	
084								84X, 84Y	
085								85X, 85Y	
086								86X, 86Y	
087								87X, 87Y	
088								88X, 88Y	
089								89X, 89Y	
090								90X, 90Y	
091								91X, 91Y	
092								92X, 92Y	
093								93X, 93Y	
094								94X, 94Y	
095								95X, 95Y	
096								96X, 96Y	
097								97X, 97Y	
098								98X, 98Y	
099								99X, 99Y	
100								100X, 100Y	
101								101X, 101Y	
102								102X, 102Y	
103								103X, 103Y	
104								104X, 104Y	
105								105X, 105Y	
106								106Y, 106Y	
107								107X, 107Y	
108								108X, 108Y	
109								109X, 109Y	
110								110X, 110Y	
111								111X, 111Y	
112								112X, 112Y	
113								113X, 113Y	
114								114X, 114Y	
115								115X, 115Y	
116								116X, 116Y	
117								117X, 117Y	
118								118X, 118Y	
119								119X, 119Y	
120								120X, 120Y	
121								121X, 121Y	
122								122X, 122Y	
123								123X, 123Y	
124								124X, 124Y	
125								125X, 125Y	
126								126X, 126Y	
127								127X, 127Y	
128								128X, 128Y	





お願い

- 記載内容は設計変更その他の理由により、ご連絡申し上げることなく変更させていただくことがありますので、お手数ではございますが、お引き合いの際は当社（代理店）販売担当者にご確認くださいようお願い申し上げます。
- 本製品をご使用になる際には、必ず添付の取扱説明書をお読みください。

集中自動検針装置 MR64f / MR128f 仕様書

平成 12 年 5 月作成

© 2000 大崎電気工業㈱

(W/PK) V1.0